言祝ぎ人
ピーター・J・マクミラン氏に聞く

和歌の妙、遊びごゝろ

『百人一首』をはじめ、『万葉集』や『伊勢物語』など数々の古典の英訳を手がけ、日本文化の魅力を広く世界へ発信するピーター・J・マクミラン氏。なかでも、遊び心や背景などその世界観までをアルファベットで描き出す和歌の翻訳は当代随一。そんなマクミラン氏に、和歌との出会いやその魅力について伺いました。

日本の古典文学との出会いについてお聞かせください。

一目惚れですか？　それとも徐々に惹かれていかれたのでしょうか？

一目惚れではありませんでした。最初に『百人一首』を翻訳したときは古典のことは何も分からなくて、日本の高校で使う教科書を読んで、勉強しながら翻訳しました。3年間かけて完成させましたが、その頃はレトリック（修辞法：枕詞、掛詞などが有名　編集部註釈）などのことはよく知りませんでした。

その後、『伊勢物語』を訳しました。翻訳を通して日本の古典を理解できるようになってきて、レトリックなどの知識が増えてきました。

さらにその後、今度は百人一首のかるたのゲームを作りたいと思いました。実は、最初に翻訳したときは自由詩として作っていました。和歌は三十一音の定型詩ですが、その形式を英語にうつすことができていなかったのです。かるた遊びにするためには、上の句と下の句に分かれる五行の定型詩に訳し直す必要がありました。吟じたときに、耳で感じる美しさも重要です。

正直に言うと、『百人一首』の中には英語の詩としてみると、あまり良さが伝わってこないような歌もあります。しかし、音律の美しさを意識して訳し直すことで、そうした歌の原文の魅力にたくさん気づくことができました。レトリックももっと深く理解できるようになりました。『百人一首』の歌を選んだ藤原定家の父、俊成が、「歌はただ、よみあげもし、詠じもしたるに、何となく艶にもあはれにも聞こゆる事のあるなるべし（歌は声に出して詠じたりしてみると、何となく優美にも、趣深くも聞えたりすることがあるようです）」（『古来風躰抄』）と言っていたとおりでした。

かくして、最初は3年かかった『百人一首』の翻訳は、今度は3ヶ月くらいでできました。そのときから、私は『百人一首』を本当に愛し始めたのだと思います。

和歌を英訳なさる時のご苦労、また楽しさはどのようなところですか？

私が和歌を訳する中でも特に印象深く、また苦労したのが、和歌における言葉遊びの訳出です。兼好※と頓阿※の応答を例に説明してみましょう。↓

〈沓冠の訳例　兼好と頓阿の応答〉（『続草庵集』巻第四）

世中しづかならざりし比、兼好が本より「よねたまへぜにもほし」といふ事を
くつかぶりにおきて

よもすがら　ねざめのかりほ　た枕も　ま袖も秋に　へだてなきかぜ

返し、「よねはなしぜにすこし」

よるもうし　ねたくわがせこ　はてはこず　なほざりにだに　しばしとひませ

米給へ　ぜにも欲し　米は無し　ぜに少し

Recently the nights are no longer warm;
in my makeshift hut I wake up to
crying winds of autumn
entering my hut, blowing on my sleeve
& on my arm-pillow freely.

Nights are grim:
oh! my anger towards you who
reneged yet once again.
I waited, but you never came.
Can you come another day?
even for a short while–Dear–is ok.

Rice & money
No rice money? ok

【現代語訳】
涼しい夜、仮庵に寝覚めた手枕にも袖にも、隔てるものなく秋風が吹く。
辛い夜、つれないあなたは結局来なかった。かりそめにでも訪ねて下さいよ。

※南北朝時代の歌人・僧。ともに藤原定家の曾孫にあたる二条為世に和歌を学び、同門の浄弁、慶運と並び、二条家の和歌四天王とも称されたという。

「かきつばた」を和歌の五句それぞれの頭において「からころも着つつなれにし……」と詠んだ『伊勢物語』九段の話をご存じの方は多いでしょう。さらに難易度を上げて、倍の十文字を和歌の五句の初めと終わりの一文字ずつに詠みこむ遊びが「沓冠（くつかぶり）」です。句の頭の字は前から順に読み、句の最後の字は折り返して後ろから読むのです。

『徒然草』の作者で有名な兼好が、米も金もなくて、やむなく友人の頓阿を頼ることに。しかし相手も余裕のない隠者だから言いにくかったのでしょうか。歌に折りこんで「米たまへ銭（ぜに）も欲（ほ）し」と伝えたところ、同じ方法で「米は無し銭少し」との返答が。お互いの和歌の実力を認め合っている仲なればこその見事なやりとりといえるでしょう。

英訳するにあたっても沓冠に挑戦しましたが、日本文化においても最高難易度といってよいほどの言葉遊びですので、やはり苦労も多かったです。沓冠には兼好の訳では句の頭に「rice &」（お米と）、句の最後に「money」（お金）を、頓阿の訳では「no rice」（お米ない）「money ok」（お金OK）を折りこみました。一部意訳気味なのは訳全体を5、6行に収めるためで、例えばもし返歌の「銭少し」を直訳すると「a little money」。これで沓冠をすると、英訳が11行になってしまいます。なお、沓冠は句の頭の字は上から下に読んでいき、句末の字は下から上に遡らせて読むもので、日本語は縦書きですから、上から下に読んでいった後に、折り返して下から上に読んでいくのが自然にできますが、英語は横書きですから、句の頭は上から下に読み、句の最後は下から上に読むというのが不自然になってしまいます。そこで英語版の沓冠では、句の最後の字も上から下に進むように訳しました。

訳詩の内容も和歌の内容に合わせ、兼好の「&」と頓阿の「ok」は詩の中でも意味を持って機能するよう工夫しました。返歌は相手を「背子（せこ）」と恋人のように呼びかけ、戯れに恋愛関係を演じているので、英訳においても、親しさがにじむように「Dear」を入れました。

正確な訳と詩的表現、言葉遊びのバランスを考えながら、決して簡単な試みではありませんでしたが、こうして一つの形になったとき、筆舌に尽くしがたいほどの感動を覚えたものです。

『百人一首』をはじめとする日本の古典は、世界に誇れる文化です。古典を英訳し世界に発信することは私のライフワークですが、同時に光栄なことでもあります。美しい日本文学を、その持ち味を尊びつつ英語へと翻す仕事を通じ「日本文化を言祝ぐ」ことを目指していますが、それは私自身にとっても喜ばしいことなのです。

ピーター・J・マクミラン
Peter MacMillan
翻訳家・版画家・詩人

アイルランド生まれ。アイルランド国立大学卒業後、同大学院で哲学の修士号、米国で英文学の博士号を取得。オックスフォード大学などで客員研究員、渡日後は杏林大学教授、東京大学非常勤講師、東京女子大学講師を歴任。2008年『百人一首』を英訳し、同年度ドナルドキーン日本文化センター日本文学翻訳特別賞はじめ数々の翻訳賞を受賞、ドナルドキーン氏よりも絶賛を受ける。『伊勢物語』、『万葉集』など多くの古典翻訳を手がけ、2019年には英語版・百人一首カルタも制作。日本文化への敬愛と機智あふれる翻訳で、日本と世界の架け橋となる活動を展開し、内外の注目を浴びる。近著に『日本の古典を英語で読む』など著書多数。朝日新聞では「星の林に」を好評連載中。

JAPONisme ジャポニスム

ジャポニスム振興会発行

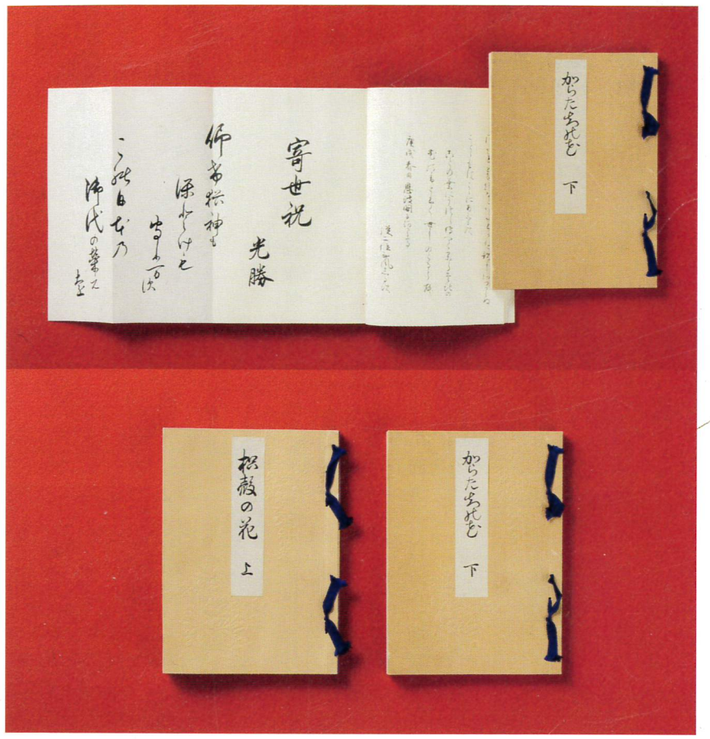
日本のこころと文化を伝える

JAPONisme ジャポニスム 2021年／冬 vol.26
ジャポニスム 発行所：一般財団法人本願寺文化興隆財団・ジャポニスム振興会

六条山のたから筥 ⑭

東本願寺第二十一世厳如上人十七回忌法要に合わせて、第二十三世彰如上人の依頼により御歌所参候の須川信行が編纂した和歌集。

序文を寄せた御歌所長の高崎正風と厳如上人は、文久の頃、近衛忠熙を通じて知り合い、明治維新後に在京華族の「向陽會」で旧交を温めた。



厳如上人和歌集『枳殻の花』（上下巻）

明治43年（1910）
一般財団法人本願寺文化興隆財団 蔵

御歌所：歌会始など宮中の和歌に関することを扱うため宮内省に置かれた部局。昭和21年廃止。

文化庁 Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

beyond 2020

古典に抱かれて 11月1日 古典の日

古典に抱かれて 11月1日 古典の日

ジャポニスム振興会ウェブサイト

http://japonisme.or.jp

ジャポニスム振興会 検索

入会費・年会費無料です。簡単に会員登録が出来ます。
『JAPONisme』定期購読のお申し込みは、会員登録画面から！
講演会、演奏会などの公演情報を随時更新しています。
会員限定のプレゼント企画もあります！
ジャポニスム振興会 facebook もご覧ください。

JAPONisme

一般財団法人 本願寺文化興隆財団・ジャポニスム振興会
〒607-8461 京都市山科区上花山旭山町8-1
フリーコール 0800-222-1284（9時～17時まで） Fax. 075-525-2095 info@japonisme.or.jp